



鈴鹿地区交通安全だより

～2022, No. 9～

※ 三重県交通安全協会ホームページから過去発行のものが閲覧できます。

令和4年5月2日
鈴鹿地区交通安全協会
電話・FAX 059-388-1241
suzukaanky@jeans.ocn.ne.jp

1 鈴鹿市内(鈴鹿警察署管内)における交通事故発生状況(4月末現在の暫定値)

～4月末で交通事故死者数が4人と、すでに昨年中の死者数と同数となってしまいました。

特に、昨年12月からの5か月間でみると5人が亡くなっており、昨年末以降、交通死亡事故が頻発するという極めて厳しい情勢が続いています。

本年の死者4人のうち3名は高齢者であり、2人が歩行・横断中、1人が自転車乗車中の事故でした。～

～高齢者に対する安全な歩行・自転車走行・道路横断にかかる広報啓発活動の推進を！～

＜1. 三重県内＞

(暫定値)

	総事故件数	人 身 事 故					物件事故件数
		件 数	死者数	負 傷 者 数			
				重傷者	軽傷者		
本 年	16,348	975	15	1,214	178	1,036	15,373
前 年	16,377	946	17	1,179	172	1,007	15,431
増減数	-29	29	-2	35	6	29	-58
増減率	-0.2%	3.1%	-11.8%	3.0%	3.5%	2.9%	-0.4%

＜2. 鈴鹿警察署管内＞

(暫定値)

	総事故件数	人 身 事 故					物件事故件数
		件 数	死者数	負 傷 者 数			
				重傷者	軽傷者		
本 年	1,736	86	4	104	15	89	1,650
前 年	1,777	105	2	131	20	111	1,672
増減数	-41	-19	2	-27	-5	-22	-22
増減率	-2.3%	-18.1%	100.0%	-20.6%	-25.0%	-19.8%	-1.3%

* 各表の数値は「暫定値」です。数値の取扱いに注意願います。

※ 日々の県内発生状況及び市町別死者数は県警HP「交通日報」にタイムリーにアップされています。

2 一般道路での後部座席のシートベルト着用率が42.9%(全国)と低迷

全席着用に向け更なる広報啓発活動が必要！ ～全席で正しく着用しましょう～

～ 2月公表されたJAF(警察庁合同)調査結果から：下表を参照 ～

	一般道路		高速道路	
	運転席	後部座席	運転席	後部座席
全 国	99.1%	42.9%	99.6%	75.7%
三 重 県	98.0%	50.0%	99.1%	84.1%



2008年に後部座席でのシートベルト着用が義務化されて10数年経過しましたが、依然として着用率が低い状態で推移しています。

～ 三重県の後部座席着用率 一般道路：50.0% 高速道路：84.1% ～

後部座席でシートベルトをしていないと、交通事故の際、下記の危険性が生じます。

- ・ピラーやシートなどに激突し、自らが傷害を負う
- ・運転席や助手席の同乗者へぶつかり、危害を加える
- ・窓などから車外に放出される

シートベルトを正しく着用していれば、致死率は格段に低くなることは立証済みです。

“シートベルトは全ての座席で正しく着用しましょう”を合言葉に広報に努めましょう。

なお、運転席の着用率について、三重県が一般・高速道ともが全国平均より低いのが気になるようです。



(一財)三重県交通安全協会：<http://www.mie-ankyou.com>

三 重 県 警 察：<http://www.police.pref.mie.jp>

